

CASBEE® 京都-新築

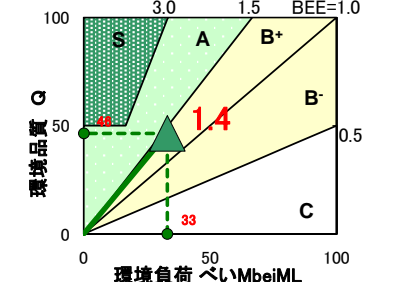
標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市南区西九条蔵王町計画 新築工事	階数	地上8F		
建設地	京都市南区西九条蔵王町11-6	構造	S造		
用途地域	都市計画区域内、市街化区域、商業地域、防火地域、25m+高度地区、中運集積形形成地区	平均居住人員	200人		
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)		
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年7月6日		
敷地面積	555.88㎡	作成者	平野 哲也		
建築面積	493.77㎡	確認日			
延床面積	3,526.25㎡	確認者			

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

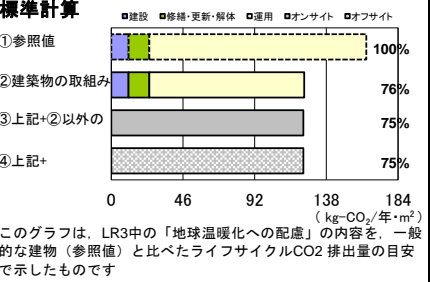
BEE = 1.4 ★★★★★



環境品質 G vs 環境負荷 べいMbeiML

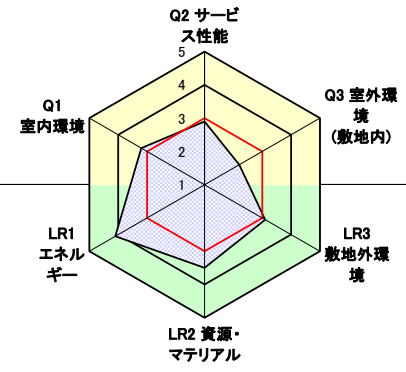
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算



①参照値 100%
②建築物の取組み 76%
③上記+②以外の 75%
④上記+ 75%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



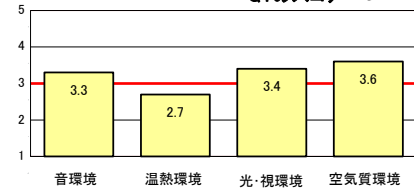
Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 4
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

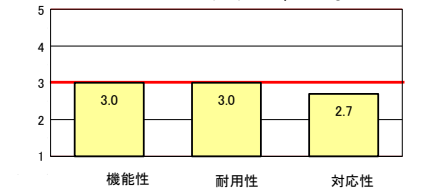
Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2



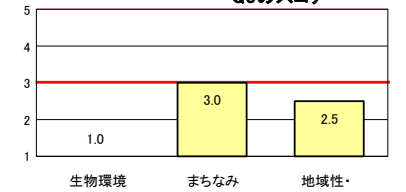
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9



Q3 室外環境(敷地内)

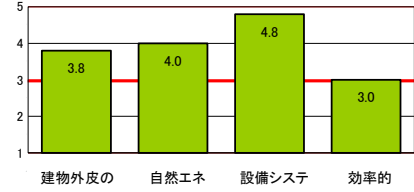
Q3のスコア= 2.2



LR のスコア = 3.6

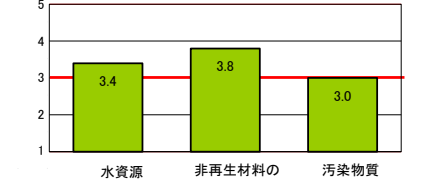
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1



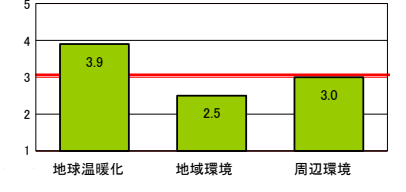
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1



3 設計上の配慮事項		
総合 国道一号線に面しており、京都の玄関口である京都駅からもアクセスしやすい場所に立地している。近くには世界遺産である東寺や伏見稲荷大社御旅所があり、宿泊される方が京都の歴史や文化を身近に感じることのできる場所に位置する。 また、再生可能エネルギーを利用し、環境にも優しい計画としている。		その他 特になし。
Q1 室内環境 室内の空気質環境向上を促進する。また外部開口部からは十分な昼光を取り入れ、自然換気による室内空気質向上が期待できる計画としている。	Q2 サービス性能 設備配管に耐用年数の長い材料を選択し建物機能の耐用性を向上させる計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) 京都市地球温暖化対策条例や、京都市市街地景観条例に適した建物計画計画としている。
LR1 エネルギー 太陽光パネルや高効率の空調機器、LED照明を採用することで一次エネルギー消費量を抑えた、省エネルギー設計としている。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材の採用、解体時のリサイクルを促進する部材や工法の採用による非再生資源使用量削減に配慮した計画とする。また節水器具採用・有害物質を含んだ材料の使用を避けることで環境負荷削減に取り組む。	LR3 敷地外環境 省エネルギー設計から、運用時の二酸化炭素排出量低減を図り、地球温暖化防止に努める。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される